

保健 学習指導案（略案）

順天堂大学 相良航輝

1. 授業実施日 8月 3日（土） 5時限 場所 教室

2. 対象 高校1年

3. 単元名 健康の捉え方

4. 本時の指導（1時間目／10時間）

（1）本時の目標 **健康を学ぶ意義を考え、事実から自身の意見をもつ**

（2）準備物

（3）展開

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点と評価の観点
2分	○号令、出欠確認	○しっかり挨拶をさせる
5分	○導入 ・健康について学ぶ意義を説明する。主な内容は以下二点とする。 ① 健康が生活の基盤になっていること。 ② 個人の健康を保つことが、様々な課題の解決に繋がること。 ・今回の授業の内容	○一方通行で話さず適宜、学習者に問いを投げかけ対話形式の授業を意識する。 ・評価の観点 観察 学習意欲が見られるか等。
25分	○展開 スライドを使用して内容について以下の項目について説明する。 ① 健康水準とは ・平均寿命 ・死亡率 ・受療率 の三点からはかるもの ② 長寿である理由について →受療率 up と乳児死亡率 down ④ ③の背景について →医療機関の発展、食生活の安定、衛生面の向上の三点を解説。具体例も提示する。 ⑤ ここまでの内容で一旦まとめる ⑥ 新しい健康課題について →感染症が今までの死亡率の上位を占めていたが、現代は生活習慣病になった。 ⑦ 生活習慣病とは何か ⑧ 生活習慣病が発生しやすい理由について	○一方通行で話さず適宜、学習者に問いを投げかけ対話形式の授業を心掛ける ・評価の観点 観察 学習意欲が見られるか等。

20 分	→生活が変化したため。 ⑨ これからの個人と社会の健康課題について →個人の心の課題、環境のことについて、老後生活について ○これからの個人と社会の健康に関する課題について各班で議論をする。 ※結論は出なくてよい。 ・話し合うこと ① 各々が今回の授業を聞いた感想を話す。なぜその感想をもつのか具体的な理由も話す。各班内で自由に質疑応答を可とする。 ② 人々は課題があることが分かっているのに未だに解決できないのか、又は予防を怠ってしまうのかを考える。ICT 機器で調べることを可とする。 ・各班で代表者が②の内容を発表する。 ○まとめ	○各班で机を繋げ、話し合いができるようにする。 評価の観点 観察 〈観察項目〉 ・学習意欲が見られるか ・話し合いへ積極的に参加しようとしているか。 ・課題に対して適切な話ができているか ・感想の根拠を具体的にのべているか。
3 分		